

優っくり村
看護小規模多機能 上用賀
サービス紹介
Book

2025年Ver



yukkurimura
syokibotakinou/kanngosyoukibotakinou

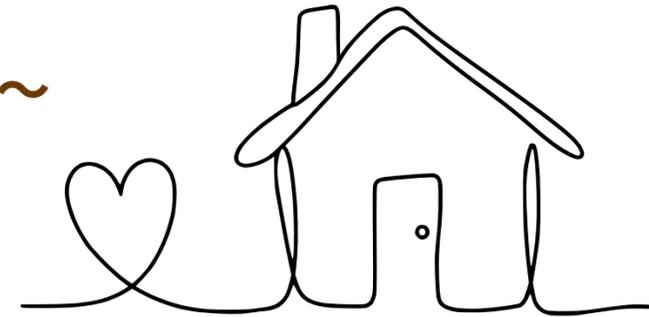


私たちの理念と新テーマ

一緒に・楽しく
ゆっくり・

「**家を中心に**、人と支援と想いをつなぎ、快適でやさしい暮らしを支える」
をテーマに、**在宅生活の継続を全力でサポート**いたします。

家括（いえかつ）～NO訪問・NOLIFE～

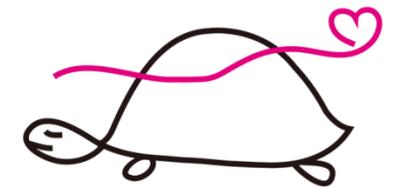


ご紹介者の皆様へ
ケアマネジャー様、地域包括支援センター職員様、病院ソーシャルワーカー様、いつも地域の在宅支援
にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護は、在宅生活を支える包括的なサービスです。

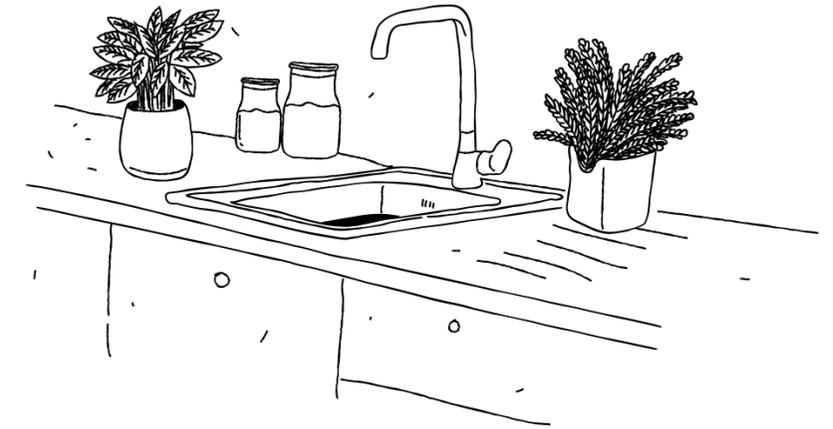
特に優っくり村では、モンテッソーリケアを取り入れた認知症ケアを実践し、
医療と介護の両面から利用者様とご家族を支え、在宅継続を実現しています。
ご紹介時の参考として、本冊子をぜひご活用ください。

在宅生活でお困りの方、サービス調整にお悩みの方など、どのような状況でも
お気軽にご連絡ください。



サービスの全体像と特徴

優っくり村では、利用者様の生活状況に合わせて「通い」「泊まり」「訪問」「医療連携」を柔軟に組み合わせることができます。一つの事業所で包括的にサポートするため、サービス間の連携がスムーズで、利用者様の状態変化にも迅速に対応できます。



通い

日中の居場所として、食事・入浴・運動
レクリエーションを提供
定員：登録制で柔軟に対応



訪問看護

看護師による健康管理と医療対応・医療機
関との密な連携による看護サービスを提供



泊り

ご家族の休息や緊急時の宿泊サービス
予約：当日の体調や状況に応じて柔軟に
利用可能



訪問

自宅での生活支援や服薬確認、安否確認
回数制限なし：必要な時に必要な分提供

小規模多機能だからできる 「ワンストップサービス」 & 「包括払い」 システム

ケアマネジャー常駐による一体的支援

小規模多機能型居宅介護では、ケアマネジャー（計画作成担当者）が常駐し、「通い」「泊まり」「訪問」を一体的に調整します。相談からサービスの調整、サービス提供まで一つの窓口で完結します。



- 「家にいたい」を叶える24時間365日支援
- 訪問×通い×泊まりの“包括払いで安心
- 医療ニーズ高い人も対応でき 家族負担が劇的に軽い

訪問介護
訪問看護

通い
デイサービス

泊り
ショートステイ

同じ職員が対応します

訪問・通い・泊りサービスが一体的に提供され、顔なじみのスタッフが対応することで、ご本人も安心感があります。

サービス一体型・包括料金で安心

必要な分だけ、必要な量を、定額料金でご利用いただけます。急に泊りが必要になってもショートのように予約が取れないという心配がほぼないです。

「一つの事業所」で生活全体を支えられ、ご本人の状態変化にも素早く対応できます

生活の流れを途切れさせず、在宅生活を継続しやすいです。

「小規模多機能は、“通い・泊まり・訪問・ケアマネ”がひとつになった在宅支援の拠点です。
その人の暮らしをチームでまるごと支える、**地域密着のワンストップサービス**です。」

小規模多機能型 サービスタイプ

小規模多機能型居宅介護

- 通い・泊まり・訪問を一体提供
- 介護スタッフが中心となってケア
- 医療機関との連携体制あり
- 個別認知症ケア

※優っくり村ではモンテッソーリケアを実施しています。



看護小規模多機能型 サービスタイプ

看護小規模多機能型居宅介護

- 看護師が常駐し医療的ケアに対応
- 点滴・褥瘡・吸引などに対応可能
- 24時間看護師オンコール体制
- 医療依存度の高い方も在宅継続可能

※優っくり村ではモンテッソーリケアを実施しています。

新サービスコンセプト

「住み慣れた自宅での暮らしは素晴らしい」
少しでもご自宅での生活が長く続くよう訪問介護・訪問看護に力を入れた
新たなサービスコンセプトです

new!

家括

～NO訪問・NOLIFE～

訪問を中心にケアプランを組み、在宅生活を支えています

家括は、自宅を中心に、人と支援と想いをゆるやかにつなぐしくみです。一人ひとりが、自宅で快適に、自分らしく暮らし続けられるように。訪問を通して生まれる小さなつながりが、人を結び、支え合いを育て、地域が少しずつあたたかく育っていく。

家括は、そんな“快適でやさしい暮らしの循環”を生み出す、新しい在宅のかたちです。

やさしい暮らしを優つくりの職員でサポートいたします。



看護小規模多機能
紹介動画はコチラ

認知症ケア

優っくり村では、モンテッソーリケアを 実践しています

◆モンテッソーリケアとは
もともとは子どもの教育法として知られる「モンテッソーリ教育」を、認知症
高齢者の支援に応用したケア方法です。
“できないことを補う”のではなく、「その人に残された力を見つけて活かし、
できるだけ長い間一人でできるように時間と空間を工夫し、高齢者の尊厳を守
るケア」を心がけています。 ※日本モンテッソーリケア協会参照

ケアの基本理念

尊厳の保持

本人を“支援の対象”では
なく“主体的な生活者”と
して尊重します。

役割のある生活

一人ひとりが「自分にで
きること」「役に立ってい
ること」を実感できる環
境づくりを重視します。

選択と参加

自分で選び、考え、
行動できる機会を創
ります



利用対象とご紹介のタイミング

住み慣れたご自宅での生活を強く希望されている方は包括的なケアやサービスがおススメです。

入退院を繰り返している方

病状が安定せず入退院を繰り返している方、退院後の在宅生活に不安がある方の受け皿として機能します

在宅生活継続を希望される

住み慣れた自宅での生活を続けたいが、介護負担が増している方や、一人暮らしで不安を感じている方に最適です

柔軟なサービス調整が必要

体調や状況の変化に応じて、通い・泊まり・訪問を柔軟に組み替えたい方。複数のサービス事業所との調整が負担になっている方にもおすすめてです。

夜間や緊急時の対応に不安がある

夜間の体調変化や緊急時の対応に不安を感じているご家族様、独居で見守りが必要な方に安心をお届けします。

医療的ケアが必要

点滴管理、褥瘡処置、吸引など医療的ケアが必要で、在宅での継続が困難と感じている方も対応可能です。

こんな方におすすめです

退院時やサービスが
増加するタイミングで

退院調整時

病院からの退院が決まり、
在宅での医療・介護体制を
整える必要がある時

独居高齢者の 支援が必要な時

一人暮らしの高齢者
で、見守りや生活支
援の強化が必要と判
断された時

サービス種類の増加 ・負担増加時

訪問介護、デイサービス、
ショートステイなど複数の
サービスを使っており、調
整が複雑になっている時

在宅限界を感じた時

ご家族の介護負担が限界
に近づいており、施設入
所を検討し始めた時



退院支援の流れと介護リハーサル

看護小規模多機能の退院支援 → 在宅生活開始までの流れ
～家族が安心して“在宅での暮らし”を始められる伴走支援～

入院中から始まる退院支援により、医療と介護の橋渡しを実現します。
病院のソーシャルワーカーや主治医と看護小規模多機能（看多機）が連携し、退院後の生活を見据えた準備を進めます

ご家族の 介護リハーサル

通いでの予行演習

食事・移乗・トイレ動作・服薬などの日常ケアを家族と一緒に実践。介助のコツや安全な方法を看護師・介護職が丁寧に指導する

泊まりで夜間確認

夜間の動きや介護負担を事前に検証。排泄介助、体位変換、夜間の様子観察など、家族が最も不安を感じる時間帯を実際に体験

生活環境の最適化

必要な福祉用具、住宅改修のアドバイス、危険箇所の共有を実施。自宅での安全な生活動線を一緒に考え、具体的な改善策を提案する

病院での退院支援（入院中）

主治医・看護師・病院ソーシャルワーカー連携
家族の介護力・生活状況退院後のリスク

1週間

訪問+通いで手厚い支援・生活リズム確立

退院当日

医療処置確認・環境最終チェック

1ヶ月

在宅生活定着・プラン最適化

2週間

状態安定・必要に応じて泊まり追加



※画像はイメージです。

医療対応一覧

※一部重度医療対応などは
詳細お聞きして対応してまいります



「医療が必要だから家では難しい…」

そんなご家族の不安に寄り添い、**看護師が常にサポート**いたします。
体調の変化にすぐ気づいてくれる 注射や栄養のケアを任せられる 具合が悪くなったときも相談できる
夜間や急な不安にも対応してくれる 医療ケアがあっても、自宅で過ごす時間を大切にしたい。
その気持ちに寄り添いながら、**安心して在宅生活を続けられるよう支えます。**

利用者の主疾病病	
高血圧	
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	
心臓病	
糖尿病	
高脂血症(資質異常)	
呼吸器疾患(肺炎や気管支炎)	
胃腸・肝臓・胆のうの病気	
腎臓・前立腺の病気	
筋骨格系の疾患(骨粗鬆症・関節症等)	
骨折	
末期がん	
末期がん以外のガン	
血液・免疫疾患	
パーキンソン病	
パーキンソン病以外の神経難病	
認知症(アルツハイマー病等)	

医療的ケアの受け入れについて			
経管栄養		褥瘡処置	
静脈内注射(点滴含む)		褥瘡の予防	
中心静脈栄養(ポート管理含む)		浣腸	
がん薬物療法の管理		摘便	
輸血		導尿	
ストマー(人口肛門・膀胱)の管理		排泄の援助(浣腸、摘便、導尿除く)	
尿道留置カテーテルの管理		口腔ケア	
その他のカテーテル		身体的リハ	
ネブライザー		摂食嚥下リハ	
酸素療法		ターミナルケア	
気管切開の管理		家族等への指導・支援	
人工呼吸器の管理		療養環境整備の支援	
喀痰吸引		本人の精神的な状態の変化への対応	
簡易血糖測定		他の関係機関との調整	
インスリン注射		疼痛管理(麻薬なし)	
疼痛管理(麻薬使用)		服薬管理・指導	
創傷処置			

実際の利用事例とご利用者様の声

事例① 小規模多機能型居宅介護

「一人暮らしでも、地域の中で安心して暮らせる」

背景

転倒による大腿骨骨折後、退院時に在宅復帰を強く希望されました。訪問介護と通所介護を併用していましたが、体調の変動が大きく、服薬管理が難しくなっていました。遠方に住む娘様も心配されていました。

介入内容

ケアマネジャー様が地域包括支援センターからの相談を受け、小規模多機能へご紹介いただきました。通いを中心に、週1回の泊まりと週2回の訪問で生活リズムを整え、服薬管理も徹底しました。

成果

服薬忘れや転倒が大幅に減少し、食事・入浴も安定しました。地域の行事にも再び参加できるようになり、笑顔が増えました。

利用者様の声

「通う日が楽しみになりました。職員さんが"おかえりなさい"って迎えてくれるのがうれしいです。ここに来ると、みんなと話せて元気が出ます。」

ご家族様の声（娘様）

「母の表情が明るくなり、電話の声も元気になりました。離れていても安心できるようになり、私自身の生活も前向きになれました。」

ケアマネジャー様の声

「サービスを一体的に使えることで、利用者様の変化に合わせた支援がスムーズになりました。本人様の"自宅で過ごしたい"という願いを実現できたケースです。」



実際の利用事例とご利用者様の声

事例② 看護小規模多機能型居宅介護

「入退院を繰り返していた生活が、在宅で安定しました」

背景

慢性心不全と糖尿病の管理が難しく、月1回のペースで入退院を繰り返していました。奥様の介護負担も非常に大きく、在宅継続が困難な状況でした。病院側も再入院を心配していました。

介入内容と対応

病院ソーシャルワーカー様からのご紹介で、看護小規模多機能型居宅介護の利用を開始しました。退院時から看護師が訪問し、体調変化を細やかにモニタリングしました。

- サービス内容：週3回通い、週1回泊まり
- 医療管理：看護師が血圧・体重・服薬状況を毎日管理し、主治医と密に連携
- 緊急対応：状態悪化時は看護師が主治医へ即時報告し、早期対応

成果

半年間、一度も入院することなく在宅生活を継続できています。奥様の介護負担も大幅に軽減され、ご夫婦の笑顔が戻りました。

利用者様の声

「看護師さんがいるから安心です。体調を気にせず、家で過ごせるようになりました。泊まりに行くと妻も休めるし、ありがたいです。」

ご家族様の声（奥様）

「夜中の体調変化にも相談できて心強いです。私一人では無理だと思っていたけど、支えてもらえて本当に助かっています。主人も安心しています。」

病院ソーシャルワーカー様の声

「退院支援の際、"在宅でも安心"と医師に説明できました。医療と介護の連携が見える形で進んでおり、他の患者様のご紹介にもつながっています。」



看護小規模多機能 医療連携・緊急対応体制

優っくり村では、24時間365日の安心体制を整えています。医療機関との密な連携により、在宅でも安心して療養生活を送っていただけます。



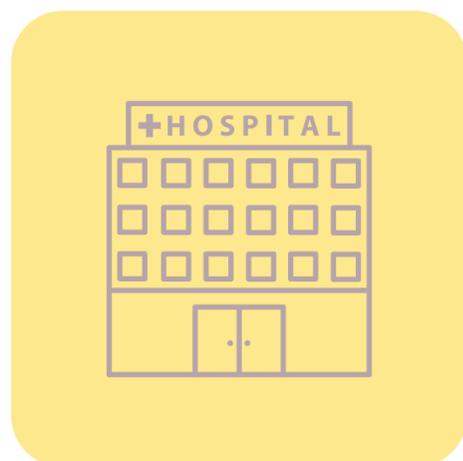
看護師24時間対応

夜間オンコール体制で、
いつでも相談可能



緊急時フロー

夜間発熱→連絡→看護師判断→
医師連携→継続在宅



主治医・訪問診療連携

定期的な情報共有と緊急時の迅速な対応



薬局・訪問リハビリ協働

多職種チーム連携で総合的にサポート

ご紹介から利用開始までの流れ

STEP 1

紹介・相談



ケアマネジャー様、地域包括支援センター様、病院ソーシャルワーカー様からのご連絡をお待ちしています

STEP 2

見学・面談



ご本人様・ご家族様に施設を見学いただき、サービス内容をご説明します

STEP 3

契約・登録



必要書類を確認し、契約手続きを進めます
管理者、ケアマネジャーが訪問し契約説明を行います。

STEP 4

サービス開始



通いから始めて、訪問・泊まりへと柔軟に調整していきます

スムーズな対応をお約束します

平均登録までの日数：3～5日

担当窓口：03-6804-4593

緊急性の高いケースにも迅速に対応いたします。



お問合せフォーム

問い合わせフォームから見学や新規申し込み等お問い合わせが可能です



チャットボット
対応中



**顔なじみの職員がチームで見守る
安心のしくみ。**

お問い合わせ

本資料に関する お問い合わせはこちらまで



社会福祉法人奉優会 優っくり事業本部

優っくり（看護）小規模多機能介護 上用賀

〒158-0098 東京都世田谷区世田谷区上用賀六丁目2番9号

 03-6804-4593

 03-6804-4594

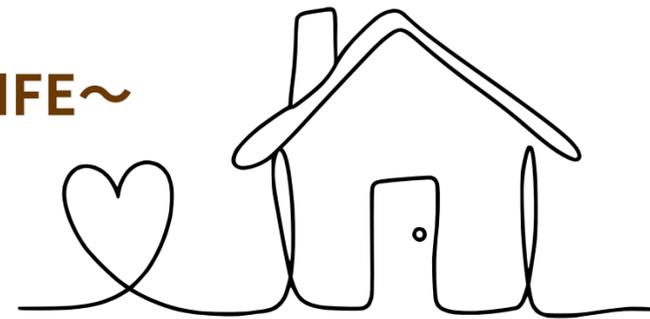
 kamiyoga-kantaki@foryou.or.jp



チャットボット
対応中



家括（いえかつ）～NO訪問・NOLIFE～



人と支援と想いをつなぐ

yukkurimurasyokibotakinou/kanngosyoukibotakinou



優っくり村
YUKKURI MURA

